

ウトナイ湖通信



No.263

2026年4月号

春の陽気になったウトナイ湖では、フクジュソウとナニワズが花を咲かせます。「幸せを招く」という花言葉があるフクジュソウは、見つけるとうれしくなる春の花です。ウトナイ湖に春の訪れを告げています。

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

4月のイベント情報

お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

4月12日(日) 10:30~11:30

レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内します。

※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

●定員:10名程度

●対象:どなたでも

(小学生以下は保護者同伴)

●申込:不要。直接当センターへ



G.W.イベント情報

作って楽しいウトナイ湖の 生きもの工作

5月4日(月・祝) 11:00~14:00

ウトナイ湖に生息する生きものを工作しながら楽しく学びます。

●内容

①毛糸のポンポン(スズメ)

②アイロンビーズ(アカゲラ)

③立体めりえ(エナガ・ゴジュウカラ)

④生きもの折り紙

●定員:①②:30名、③④:制限なし

●対象:どなたでも

(小学生以下は保護者同伴)

●申込:不要。直接当センターへ



ウトナイ湖・春の渡り鳥 DAY 事前申し込みプログラムのお知らせ

5月5日(火・祝) 開催

フォトラリーや体験コーナーを通して、春のウトナイ湖を楽しもう!

野鳥観察は事前申し込みが必要となります。

《春のウトナイ湖で耳をすませて》
野鳥を探そう

●時間:11:00~12:00

●定員:先着20名

●対象:どなたでも

(小学生以下は保護者同伴)

●申込:4月1日(水)~5月3日(日)

9:00~17:00 電話で当センターへ



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前9時~午後5時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムーくん



~ ウトナイ湖 ~
・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライング・パートナーシップ

傷病鳥獣ルームから

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



シメ



搬入直後の様子
右眼の周囲が腫れている

置き餌、水を設置し
経過観察しているところ



原因：衝突疑い

12月16日 市内の住宅地の前で飛べずにいたところを保護され、保護センターへ搬送される。

明らかな外傷は認められなかったが、顔の右側を強打したのか、右眼周囲が腫れていた。眼球自体に損傷は認めなかったが、安静状態にし、一晩経過観察とした。

12月17日 翌日についても容体安定しており、リリースに至る。

リリース

シメ (スズメ目 アトリ科)

全長19cm。ずんぐりとした体形と、太い嘴、短い尾が特徴的です。この太い嘴で木の種子を割って食べ、学名の「Coccothraustes (種子を打ち砕くもの)」の由来にもなっています(繁殖期には昆虫も捕食します)。平地や低山の森林に生息しています。

トピックス



ボランティアフォローアップ研修 ウトナイ湖自然虎の巻づくり

ボランティアがガイドや調査で活動する際に役立つよう、ウトナイ湖で観察できる動植物をわかりやすくまとめた要約集を作成しました。「作りながら勉強できて楽しかった」「要約集の種類を増やしていきたい」などの感想が寄せられ、積極的に取り組む様子が見られました。



水辺の渡り鳥ウォッチング

本州から北上してきた渡り鳥を22名の参加者と観察しました。望遠鏡を使用してハクチョウ類の見分け方を解説するほか、ダイサギやオジロワシなども観察することができました。「説明が丁寧でわかりやすかった」「ダイサギが想像より大きかった」などの感想が寄せられました。



ボランティアコーナー

2/23に開催した「ボランティアフォローアップ研修」に参加された やまうら さんに、インタビューしました。

「フォローアップ研修」をやってみようと思った理由はなんですか？

ボランティアは活動を通じて植物のこと、生き物のことを知りたいと思い始めました。今回のボランティアフォローアップ研修も、資料作りを通じて新しいこと・知らないことを学べればと思い参加しました。

参加してみた感想を教えてください。

今回の課題で作成した「ウトナイ湖自然虎の巻」は誰もが標準的なガイドを行なうための一助になると思います。ベテランボランティアの方々をはじめ、他のボランティアの豊富な知識を聞かせていただいて大変勉強になりました。今後も作成を継続することですのでまた機会があればお手伝いできればと思います。

印象に残ったことがあれば教えてください。

ガイド経験豊富なボランティアの方がご自身で作成した手作りの見事な資料を見せていただき非常に感激したのと同時に、ガイドに対するこの方の姿勢・取組み方にとっても感心しました。私はガイドをするのは苦手ですが、今後もお手伝いできたいと思います。



ウトナイ湖自然虎の巻を作成する やまうら さん

ウトナイ湖 ◀ お楽しみコーナー 【ウトナイ湖・クイズ】

ウトナイ湖に春に渡ってくる小鳥
「メジロ」をぬってみよう！

花の蜜を好むため、
花の咲いている木に
飛んでくる様子が観
察できるかもしれま
せん。



公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



Facebook



X



レンジャーのおすすめ自然情報



【クログミ】

4月中旬や下旬頃からよく見られる夏鳥。写真はオスで、黄色い嘴が特徴的。土道の観察路上で見かけることもある。



【メジロ】

4月下旬頃からよく見られる夏鳥。本州では留鳥。さえずりが「長兵衛、忠兵衛、長忠兵衛」と例えられることも(聞きなし)。



【ミズバショウ】

4月から5月頃に、主にオタルマップ川周辺で、白い仏炎苞(葉が変化したもの)が見られる。花にあたるのは黄色い棒状の部分。



【キタコブシ】

4月から5月頃に、白い花を咲かせる。主に観察路沿いで見られる。葉が出る前に咲くので、比較的見つけやすい。

冬も終わりを迎え、春がやってくる4月になりました。子育てのために夏鳥が越冬地からウトナイ湖へ渡り始め、植物は芽吹きや開花を迎える季節です。

林では、なわばりの主張や、メスへのアピールのために、主に野鳥のオスが鳴く「さえずり」が聞こえ始めます。野鳥たちの繁殖を邪魔しないよう、追い回したり、同じ場所に居続けたりすることは避けましょう。観察マナーに気を付けながら、春の訪れを探してみてください。



ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



Facebook



X

自然観察路ガイドマップ【春】



春のお薦めポイント

3月の早朝、湖では数万羽のマガンのねぐら立ちが見られます。
4月中旬から、林の中では次々と渡ってくる夏鳥たちの賑やかなさえずりが聞かれるようになります。
4月下旬には、はるばるオーストラリアからオオジシギが渡ってきます。
5月下旬、自然観察路の木道沿いにはズミの白い花が満開になります。